

当院では下記の研究に協力しております

「体外受精にのぞむ女性のこころの動きに関する追跡研究」 ご参加のお願い

1. 研究の目的

日本は、諸外国と比較して体外受精の実施件数がとても多いと言われています。しかし、体外受精の実施が女性のこころにどれだけ負担になっているのか、日本ではまだ明らかになっていません。本調査では、体外受精にチャレンジされる女性を対象に追跡調査を行い、こころの状態の変化とそれらに関連する要因を分析したいと考えています。この研究の結果をもとに、どのような支援が負担の軽減に必要であるのかを明らかにして、社会への提言につなげていきたいと私達は望んでいます。

2. 研究の方法

対象：これから体外受精にチャレンジされる女性の方

方法：研究参加に同意し、初回の調査に回答してくださった方を対象に、国立成育医療研究センター（責任者：加藤承彦）より、質問紙を郵送いたします。毎月ごとの追跡調査（最長12ヶ月）となります。

期間（データの分析期間を含む）：倫理審査委員会承認後～2022年3月

謝礼：初回アンケートに回答して頂いた方に1500円のクオカードをお送りいたします。継続的にご参加いただける方には6回目と12回目に1000円のクオカードをお送りいたします。

3. 研究に用いる情報の種類

本研究では、不妊治療の経過とともに体外受精にチャレンジされている女性の方のこころの状態や生活の状況などがどのように変化するかを追跡調査していきます。また、それらの変化がどのような要因（例えば、職場の理解やパートナーのサポートなど）と関連しているのかを分析していきます。

4. 情報の公表

ご協力によって得られた研究成果は、学会、学術雑誌、研究報告書などで公表されることがあります。その際、まとめられたデータとして公表されますので、参加してくださった方の個人情報（お名前、ご住所など）が公表されることは一切ございません。

5. 研究実施機関

国立成育医療研究センター

研究協力施設

* 梅が丘産婦人科

* 田園都市レディースクリニック

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、質問紙が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

○照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

<研究責任者>

加藤承彦

国立成育医療研究センター 研究所

社会医学研究部 室長

<問い合わせ受付窓口>

国立成育医療研究センター 研究所

社会医学研究部

〒157-8535

東京都世田谷区大蔵 2-10-1

03-3417-2647

dsm_kenkyu@ncchd.go.jp